

あぷろうち

～ approach ～



日本労働組合総連合会
群馬県連合会（連合群馬）

発行人 金子 裕昭
編集人 鈴木 誠

〒379-2166

群馬県前橋市野中町361番地2

（群馬県労働福祉センター2F）

TEL 027-263-0555

FAX 027-261-0549

Eメール info@gunma.jtuc-rengo.jp

URL http://www.rengo-gunma.gr.jp/

2013年7月号

No.219

すべての県民が安心して暮らせるために

「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーン

最低賃金の遵守と引上げを求めることと、労働者保護ルールの変更阻止を広く県民へ呼び掛けるため、6月7日に高崎、8日に伊勢崎、14日に前橋で街頭宣伝活動を行い、連合群馬議員懇談会と地協から延べ54名が参加しました。

議員懇の県議、市議らが「最低賃金は守られていますか？」「現在の政府は労働者保護ルールの変更を検討しています」と訴えると共に、最低賃金の詳細を記載したチラシ入りティッシュを配布し、県民へアピールしました。

この取り組みは、連合全体での全国行動キャンペーンとして、格差拡大の阻止、最低賃金の引き上げと遵守を求めること、労働規制の緩和に断固反対し社会保障制度の抜本改革を求めるものです。

「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーンのアピール内容

最低賃金の引き上げ

すべての働く人の賃金の最低限を保証して、労働者の生活を守る制度です。

群馬県の最低賃金 **¥696** → 年収139万円
(年間2,000時間)

この額では、「健康で文化的な最低限度の生活」はできません。

「誰もが生活できる最低賃金水準」への早期到達に向けて取り組んでいきます。



高崎駅西口（6月7日）



チラシ入りティッシュを配布によるPR



働く上での問題は連合群馬へ
柳沢市議（安中）



最低賃金の引上げを熱く訴える
塚越県議

ベイシア西部モール店 伊勢崎（6月8日）



買い物客へPR

前橋駅北口（6月14日）



社会保障制度の抜本改革を！
小川県議



労働者の雇用を守ろう！
前橋市議団（市民フォーラム）

項目	政府の動き	労働者の立場から見ると	連合の取り組み
労働規制の緩和	解雇の金銭解決制度の導入	違法な解雇であっても、労働者は職場へ戻れない	経営者目線、労働者無視の一方的な施策であり、労働者保護制度を後退させ、格差社会を拡大させる動きに対し、断固反対する
	ホワイトカラーエグゼンプションの導入 ※ホワイトカラー労働者（主に事務職）に対する労働法上の規制緩和など	何時間残業しても時間外賃金が支払われない	
	勤務先や職種、労働時間を限定した、ジョブ型正社員の導入	新たな非正規労働者を生み出し、正社員の労働条件の引き下げに悪用される可能性あり	
社会保障	改革論議がストップ	医療、介護、年金などの高齢者重視 現役・若者世代の負担が増加	高齢者中心から「全世代支援型」への抜本改革を求める
	生活保護基準の引き下げを提案	低所得者が様々な支援の対象から外される可能性あり	生活に困窮している人たちを支援する制度の構築

あらためて想う「平和」の尊さ ～平和行動in 沖縄

平和行動in 沖縄を6月23～25日に開催し、産別、連合群馬議員懇談会から13名が参加しました。

1日目は、2013平和オキナワ集会が那覇市民会館で開催され、「在沖縄米軍基地と構造的差別」と題した基調講演の後、式典が始まりました。

南雲事務局長からは「世界一危険と言われる普天間基地、オスプレイ飛行訓練など、沖縄の皆さんは戦後68年経っても様々な形で大きな不安と負担を強いられている。連合は、在日米軍基地の整理縮小と日米地位協定の抜本的見直しに向けて、粘り強く取り組んでいく」といった決意表明と挨拶がありました。



平和オキナワ集会会場前にて



群馬の塔で折り鶴を献納



薄暗いガマの入口

2日目は、連合埼玉と合同で地上戦が行われた戦跡を巡り、①負傷兵と民間人がひしめき合っていた糸数アブチラガマへの入壕、②平和祈念公園内の群馬の塔へ1万1千羽の折鶴献納、③平和祈念資料館とひめゆり平和祈念資料館での学習、④旧海軍司令部壕への入壕など、多くの民間人が犠牲となった当時の悲惨な状況などを学びました。

その後、在日米軍基地の縮小と日米地位協定の抜本的見直しを求める集会とデモ行進に参加しました。

私たち一人ひとりが沖縄の過去と現実への理解をさらに深め、語り継いでいくことの大切さを痛感するとともに、あらためて「平和の尊さ」「恒久平和」への想いを共有しました。

青年委員会 スポーツ交流会

職場や地域を超えた交流



6月8日、群馬県総合スポーツセンターで、青年委員会のスポーツ交流会を開催し、産別・地協・連合群馬議員懇談会から152名が参加しました。

青年層の職場や地域を超えた交流と、政治に対する関心を高め、より身近に感じてもらえるよう、議員懇から45歳以下の各級議員5名（後藤克己・あべともよ・小川あきら県議、渡辺充徳館林市議・都丸裕史大泉町議）にも参加をいただき、スポーツで交流をはかりました。

参加者は、8チームに分かれて「ドッチビー」、「なんでもフリースロー」、「逃げ玉入れ」、「混合リレー」の各競技を行いました。

ドッチビーでは、たどたどしい感じで試合開始となりましたが、

しだいに声を掛け合い、連携してパスを回すなど、すっかり打ち解けていました。

議員の皆さんも、ドッチビーで集中的に狙われたり、混合リレーと一緒にボールを運んだり競技を進めるうちに「気軽に声を掛けられる同年代の仲間」になって、チームに溶け込み身近な存在となっていました。

参加者からは「違う労組の人と一緒に交流できて楽しかった」、「職場に同年代がいないので、同年代と話をする良い機会だった」との感想がありました。

終了後には、名刺や電話番号を交換する姿も見られ、盛況のうちに終了しました。

青年委員会は、毎年交流会を開催しています。次回はあなたも参加してみませんか？



円陣を組んで団結を固める



全力疾走する渡辺市議

労働者を支えるために

政労使で、群馬の労働行政に対する取り組み内容を共有するための群馬産業労働懇談会実務者会議が、6月17日に群馬労働局で行われ、労働局、経営者協会、連合群馬から16名が出席しました。

群馬労働局から、増加傾向にある労働災害防止対策を最重点として推進することや、熱中症予防対策の周知、業務改善助成金などの説明がありました。

連合群馬からは、労働相談体制の強化や労働関係法の改正後の状況、超少子高齢化対策などについて質問し、取り組み内容の共有化をはかりました（下記に一部を紹介）。

【質問内容（抜粋）】 連：連合群馬、労：労働局 改正労働契約法について

連：改正法をどのように周知しているか、また労働局へ寄せられた相談内容について教えてほしい。

労：ポスター掲示や、事業所、社会保険労務士を訪問し周知しています。相談は、無期転換直前の5年で契約が打ち切られるのではないかと、65歳以降は無期契約となるかといった内容です。

超少子高齢化対策について

連：女性の社会進出促進の取り組みを、県内企業へ浸透させるための方法はどういったものがあるか。

労：職員1名当たり24件の企業訪問を行い、くるみマークの周知や認定後のメリットを伝えています。

違反のない選挙をどう闘うか —政治活動コンプライアンス学習会—

参議院選挙を見据えたコンプライアンス（法令を遵守した選挙運動）徹底のため、6月15日に前橋市総合福祉会館で学習会を開催し、産別・地協・議員など302名が参加しました。

講師の五百蔵弁護士から、「労働組合としてできる政治活動と選挙運動について、知識と知恵を身に付け取り組んでほしい」。さらに、解禁するネット選挙については、ウェブ、フェイスブック、ツイッター等の有効的な使い方や電子メールの注意点などの具体例を交えながら、「次回以降の選挙も見据えて、労働組合としてネットワーク構築にも力を入れることが重要」と話がありました。

質疑では、組合員へ選挙期間中のメール配信の仕方など細かい点があげられ、情報を共有しました。



労組の選挙運動とは？
五百蔵弁護士



ネット選挙解禁の話に
真剣に耳を傾ける

<3日間で14件> 女性委員会が労働相談対応

6月27日～29日の3日間、働く女性の労働相談キャンペーンを実施しました。

相談件数は14件で、内容は職場環境に対する不満や年次有給休暇の取得問題、上司や同僚からの嫌がらせなどをはじめ、アルバイトから正社員になったが、国民年金から厚生年金への切り替えがうまくいかず、未納の通知が届いてしまったという相談もありました。

毎年、男女平等月間の一環として行っており、働く女性の悩みに女性委員が対応するため、対応方法などを事前学習会（下記）で学び、当日に臨んでいます。



女性の悩み相談に応じる女性委員

～相談対応事前学習会～

6月12日に実施した事前学習会では、群馬労働局から松本雇用均等室長を講師に招き、労働局へ



松本雇用均等室長

寄せられた男女雇用機会均等法に関わる相談として、妊娠を理由とした不利益な取扱いや、マタハラ、セクハラについて紛争解決事例をもとに学ぶとともに、対応に向けた心構えを共有しました。



事前学習会でマタハラやセクハラなどについて学ぶ

第23回参議院選挙 群馬選挙区 健闘むなしく敗戦 ●●比例候補者は6名当選●●

7月21日に投開票された第23回参議院選挙は、群馬選挙区で連合群馬が推薦した、かがや富士子氏は健闘むなしく、当選には至りませんでした。

なお、比例候補者9名におきましては6名が当選を果たすことができました。

皆様の心からのご支援とご協力に感謝申し上げます。

【群馬選挙区】確定投票率 51.75%（前回 58.55%）

候補者名	政 党	当落	得票
かがや富士子	民主党	落	123,725
山本一太	自民党	当	580,144
安永あきら	幸福実現党	落	11,200
たなはしせつこ	共産党	落	91,905

議員懇との 意見交換

政策制度要求策定に向けて

2014年度政策・制度要求と提言の策定に向け、連合群馬議員懇談会との意見交換を6月15日に前橋市総合福祉会館で開催し、議員懇会員、地協代表など47名が参加しました。

2013年県民意識調査速報値（詳細は号外を参照）の結果と特徴を共有し、今後の政策要求策定に向け、連携を強化し

ていくことを確認しました。

また、今年度の新たな取り組みとなる、「子ども・子育て」を総合的に支援する『子ども・子育て会議』設置条例の地域での取り組みについて、意思統一しました。

意見交換の中で、安中の土屋市議から「安中は6月議会で、子ども・子育て会議設置



「子ども・子育て会議」設置条例の制定について話す 塚原県議

条例が可決された」との情報がありません。

献血で救える命そこにある

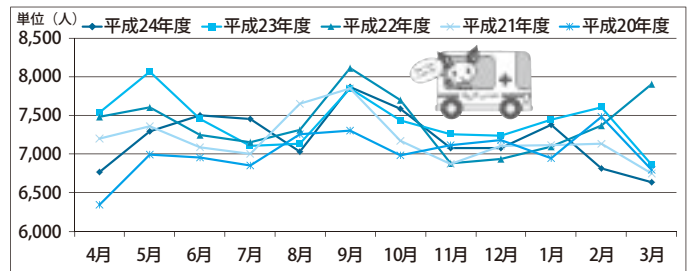
前号のあぶらうちに引き続き、献血の必要性について、ご案内します。

○毎日どのくらいの献血が必要なの？

群馬県では、毎日およそ300人分の献血が必要です。県内の病院で使われる血液は、県内の献血によって集めるよう、法律で定められています。このため、患者さんに安定的に血液を届けるには、皆さんの献血が必要です。

○献血者減少時期のご協力

血液の需要は年間を通じてほぼ一定であるのに対して、献血者数には変動があります。お盆や年末年始など、長期休暇のある時期や、特に冬場から春先にかけては、風邪で体調を崩す人が多いこと、年度変わりで企業や学校の協力が得られにくくなること等から、減少してしまいます。献血者の減少は、長期保存できない輸血用血液製剤（赤血球製剤21日間・血小板製剤4日間）の不足を引き起こします。



☆ 献血ルームのご案内 ☆

県内には3カ所の献血ルームがあります。イベントやキャンペーンも実施していますので、是非、足を運んでみてください。また、献血の際は「連合群馬」とお伝えください。

※前橋献血ルーム

前橋駅南口大同生命ビル1階（電話：027-220-5522）

※高崎駅献血ルーム

高崎駅東口3階イーサイト内（電話：027-327-8139）

※太田献血ルーム

太田市学習文化センター内（電話：0276-60-3300）

イベント 参加者募集中！

連合群馬では、9月行事の参加者を募集しています。産別を通じて連合群馬へお申し込みください。

震災復興ボランティア

日 時：9月19日(木)～22日(日)

場 所：宮城県南三陸町周辺

内 容：農地の塩害復旧作業
(状況によって変わります)

対 象：構成組織の組合員
20名程度

参加費：15,000円



昨年の様子

女性委員会「ヨガ講座＆ランチ交流」

ヨガとランチで楽しく交流

日 時：9月14日(土)9時45分～12時30分

場 所：前橋商工会議所会館 マック・スクエア

対 象：女性組合員100名程度

参加費：2,000円(昼食代)

有期契約で働く仲間の集い

労働法の学習会とグループディスカッション

日 時：9月21日(土)10時00分～13時00分

場 所：伊勢崎プリオパレス

対 象：有期契約労働者と組織担当者

参加費：500円(昼食代)

連携団体からのご案内

1. 連合埼玉 狭山茶の販売

狭山の新茶を特別価格で販売

(1) 展開期間：7月9日(火)～8月30日(金)

(2) 購入申込：ホームページからお申込み下さい



連合群馬ホームページ
からバナーをクリック

2. ぐんま労福協 第1回勤労者福祉セミナーの開催

(1) 開催日時：8月24日(土) 9:30～12:00

(2) 開催場所：全労済群馬県本部 おおむらホール

(3) 講 師：株式会社ラポール企画

代表取締役 大小原 利信 氏

(4) 講演内容：「話し上手・きき上手」